

第3次しろい健康プランのめざそう値の達成状況について

第3次プランでは、各計画の取り組みに対応した「めざそう値」を設定して、計画を推進してきました。達成状況の判定にあたっては、策定時の値及び「めざそう値」の関係性により、以下の5段階で評価しています。

判定	内容
達成	現状値がめざそう値に達している
改善傾向	現状値がめざそう値には達していないが改善傾向にある
変わらない	現状値が策定時の値と変わらない（達成率±5.0%以内）
悪化	現状値が策定時の値から悪化している
—	調査対象者の変更等により達成状況が評価できないもの

○めざそう値の達成率の算出方法

$$\text{達成率（\%）} = (\text{現状値} - \text{策定時の値}) \div (\text{めざそう値} - \text{策定時の値}) \times 100$$

【変更点】

「変わらない」の判定内容の変更

例) 策定時12%、現状値10.8%で「めざそう値10%以下」の場合

●策定時の値と現状値の差が±3ポイント以内

策定時の値12%－現状値10.8%＝1.2%で、差が3%以内のため

「変わらない」と判定



●達成率±5%以内

(現状値10.8%－策定時の値12%) ÷ (めざそう値10%－策定時の値12%) × 100

＝60.0% で、達成率が5%以上のため「改善傾向」と判定

評価方法の変更理由

- ・次期しろい健康プランは国の健康日本21及び健康ちば21の考え方を踏まえて策定することから、整合性を図るためにそこで示されている評価方法を今回から取り入れて評価をすることとしました。
- ・「変わらない」の判定内容を±5%以内としたのは、5%の確率で誤差を排除し5.1%以上の変化を実質的な変動とみなすという統計的な客観性を保つためのものです。

《総括的評価》 令和7年12月末時点

各計画の総括的な評価は、「達成」が28.4%、「改善傾向」が28.4%、「変わらない」が11.9%、「悪化」が31.3%となりました。新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化等も一因と考えられますが、「悪化」の項目が多いことから、対策や効果的な取り組みを検討していく必要があります。

計画	施策の方向性	達成	改善傾向	変わらない	悪化	小計	—
健康増進計画	1. 生活習慣の改善	2	2	0	3	7	0
	2. 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上	1	2	3	2	8	0
	3. 生活習慣病の発症予防と重症化の予防 ※	1	1	0	1	3	0
	4. 健康を支え、守るための社会環境の整備	0	0	1	0	1	0
	小計 (割合)	4 (21.1)	5 (26.3)	4 (21.1)	6 (31.5)	19 (100.0)	0 -
食育推進計画	1. 食と健康づくりの推進	2	3	1	5	11	0
	2. 食を通じたコミュニケーション ※	1	3	1	2	7	1
	3. 食育を推進するための食環境の整備	1	0	0	0	1	0
	小計 (割合)	4 (21.1)	6 (31.6)	2 (10.5)	7 (36.8)	19 (100.0)	1 -
歯科口腔保健推進計画	1. 歯科口腔保健の意識と生活習慣の改善 ※	0	2	0	3	5	0
	2. 歯科疾患の予防 ※	2	0	1	2	5	0
	3. 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持獲得 ※	2	1	0	1	4	0
	4. 定期的に歯科健診または歯科医療を受けることが困難な人に対する歯科口腔保健 ※	0	0	0	1	1	0
	5. 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備	2	0	0	0	2	0
	小計 (割合)	6 (35.3)	3 (17.6)	1 (5.9)	7 (41.2)	17 (100.0)	0 -
自殺対策計画	1. 地域におけるネットワークの強化	1	0	0	0	1	0
	2. 自殺対策を支える人材の育成 ※	0	2	0	0	2	0
	3. 市民への啓発と周知 ※	2	1	1	1	5	0
	4. 生きることの促進要因への支援	1	1	0	0	2	0
	5. 児童生徒のSOSの出し方に関する教育	1	1	0	0	2	0
	小計 (割合)	5 (41.7)	5 (41.7)	1 (8.3)	1 (8.3)	12 (100.0)	0 -
総計 (割合)	19 (28.4)	19 (28.4)	8 (11.9)	21 (31.3)	67 (100.0)	1	

「※」がある項目は令和6年度実績または令和7年12月時点の数値となり確定値ではありません。

## 第1章 健康増進計画

健康増進計画では4つの施策の方向性に7つの具体的な取り組み、合計19のめざそう値を設定し、計画を推進してきました。

めざそう値19項目中、「達成」は4項目、「改善傾向」は5項目、「変わらない」は4項目、「悪化」は6項目でした。

策定時よりも現状値が悪化した項目のうち、20歳以上女性のBMI値が25以上（肥満）の割合、ロコモティブシンドロームの言葉と意味理解の割合、COPDの認知度の割合が特に悪化しました。

### 1. 生活習慣の改善

目標項目		策定時 (令和元年度)	めざそう値 (令和7年度)	調査結果 (令和7年度)	判定
運動を週2回以上している人の割合の増加	20歳以上	45.7%	50%以上	59.3%	達成
適正飲酒量を知っている人の割合の増加	20歳以上	50.1%	55%以上	47.2%	悪化
たばこを吸っている人の割合の減少	20歳以上	12.5%	10%以下	10.8%	改善傾向
睡眠がとれていない人（あまりとれていない、まったくとれていない）の割合の減少	20歳以上	28.1%	25%以下	30.0%	悪化
BMI値が25以上（肥満）の人の割合の減少 食育推進計画【再掲】	20歳以上 男性	31.7%	28%以下	28.8%	改善傾向
	20歳以上 女性	17.7%	15%以下	21.4%	悪化
過去1年間に歯科健診を受診した人の割合の増加 歯科口腔保健計画【再掲】	20歳以上	57.7%	60%以上	63.7%	達成

### 2. 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上

目標項目		策定時 (令和元年度)	めざそう値 (令和7年度)	調査結果 (令和7年度)	判定
毎日の生活に充実感がない人の割合の減少	20歳以上	20.7%	10%以下	23.3%	悪化
家族以外に、自分の健康に関する悩みや不安を相談できる人がいる人の割合の増加【再掲】	20歳以上	65.3%	70%以上	66.7%	改善傾向
ゲートキーパー（命の門番）の言葉と意味を知っている人の割合の増加【再掲】	20歳以上	9.5%	33%以上	10.5%	変わらない
授業以外の部活動や習いごとで運動をしている子どもの割合の増加（週4日以上）	小学生	19.0%	23%以上	23.0%	達成

目標項目		策定時 (令和元年度)	めざそう値 (令和7年度)	調査結果 (令和7年度)	判定
授業以外で運動（部活動を含む）をしている子どもの割合の増加（週4日以上）	高校1年生	44.3%	48%以上	45.5%	改善傾向
午後10時以降に就寝する小学生の割合の減少	小学生	30.8%	20%以下	30.3%	変わらない
ロコモティブシンドロームの言葉と意味を知っている人の割合の増加	20歳以上	43.1%	65%以上	37.9%	悪化
地域でスポーツ・趣味・娯楽活動をする人の割合の増加	65歳以上	32.7%	40%以上	32.4%	変わらない

### 3. 生活習慣病の発症予防と重症化の予防

目標項目		策定時 (令和元年度)	めざそう値 (令和7年度)	調査結果 (令和7年度)	判定
精密検査受診率が90%以上のがん検診（国推奨5大検診）		2検診	5検診	4健診 ※ (R6)	改善傾向
糖代謝検査項目が要医療の者のうち、次年度改善者		42.1%	48%以上	50.0% ※ (R6)	達成
COPDの認知度の向上	20歳以上	48.7%	70%以上	44.0%	悪化

「※」がある項目は令和6年度実績の数値となり確定値ではありません。

### 4. 健康を支え、守るための社会環境の整備

目標項目		策定時 (令和元年度)	めざそう値 (令和7年度)	調査結果 (令和7年度)	判定
地域の人たちとのつながりが強いと思う人の割合の増加	20歳以上	26.4%	30%以上	26.4%	変わらない

## 第2章 食育推進計画

食育推進計画では、3つの施策の方向性に6つの具体的な取り組み、合計19のめざそう値を設定し、計画を推進してきました。

めざそう値19項目中、「達成」は4項目、「改善傾向」は6項目、「変わらない」は2項目、「悪化」は7項目、「評価不可」は1項目でした。

策定時よりも現状値が悪化した項目のうち、3食必ず食べることに気をつけている30歳から40歳の割合や、20歳以上女性のBMI値が25以上（肥満）の割合、家族と一緒に食事をとる回数が特に悪化しました。

### 1. 食と健康づくりの推進

目標項目		策定時 (令和元年度)	めざそう値 (令和7年度)	調査結果 (令和7年度)	判定
1日に主食・主菜・副菜の3つを揃えて食べる回数が2回以上の割合の増加	高校生	76.3%	80%以上	74.7%	悪化
	成人	59.6%	70%以上	59.3%	変わらない
苦手な食べ物（野菜等）でも食べられる子どもの割合の増加	小学生	44.1% (H30)	50%以上	49.9%	改善傾向
	中学生	39.1%	45%以上	57.1%	達成
1日に野菜料理を5皿以上食べる人の割合の増加	20歳以上	9.7%	15%以上	12.6%	改善傾向
3食必ず食べることに気をつけている人の割合の増加	30歳代～ 40歳代	63.1%	65%以上	60.9%	悪化
よく噛んで食べている子どもの割合の増加	小学生	58.6%	70%以上	57.5%	悪化
	中学生	53.9%	60%以上	67.5%	達成
BMI値が25以上（肥満）の人の割合の減少【再掲】	20歳以上 男性	31.7%	28%以下	28.8%	改善傾向
	20歳以上 女性	17.7%	15%以下	21.4%	悪化
減塩や薄味を心がけている人の割合の増加	20歳以上	56.6%	65%以上	55.7%	悪化

### 2. 食を通じたコミュニケーション

目標項目		策定時 (令和元年度)	めざそう値 (令和7年度)	調査結果 (令和7年度)	判定
家族と一緒に食事をとる回数の増加[朝食+夕食]	20歳以上	週9.3回	週10回以上	週8.6回	悪化
食事の手伝いをいつも、時々している子どもの割合の増加	小学生	49.4%	60%以上	57.2%	改善傾向
日本食や地域の伝統的な料理を食べる人の割合の増加	20歳以上	43.5%	50%以上	43.1%	悪化
農作物を購入時、千葉県産、または白井産を選ぶ割合の増加	20歳以上	29.7%	45%以上	30.5%	改善傾向

目標項目		策定時 (令和元年度)	めざそう値 (令和7年度)	調査結果 (令和7年度)	判定	
学校給食への地元農産物の利用品目数の維持		14品目	14品目以上	13品目 ※	変わらない	
食事を残したときに「もったいない」と思う子どもの割合の増加	小学生	89.1%	93%以上	90.7%	改善傾向	
	中学生	88.7%	93%以上	給食・食育評価アンケート	—	
食品ロスの削減を心がける人の割合の増加		20歳以上	76.5%	80%以上	84.1%	達成

「※」がある項目は令和7年12月時点の数値となり確定値ではありません。

### 3. 食育を推進するための食環境の整備

目標項目		策定時 (令和元年度)	めざそう値 (令和7年度)	調査結果 (令和7年度)	判定
食育について連携する関係団体・機関の数の増加		6団体	9団体	9団体 ※	達成

「※」がある項目は令和7年12月時点の数値となり確定値ではありません。

### 第3章 歯科口腔保健推進計画

歯科口腔保健推進計画では、5つの施策の方向性に9つの具体的な取り組み、合計17のめざそう値を設定し、計画を推進してきました。

めざそう値17項目中、「達成」は6項目、「改善傾向」は3項目、「変わらない」は1項目、「悪化」は7項目でした。

策定時よりも現状値が悪化した項目のうちデンタルフロスや歯間ブラシを使用する人の割合、60歳で未処置歯を有する人の割合、硬い食べ物でも普通に噛んで食べることができる人の割合が特に悪化しました。

#### 1. 歯科口腔保健の意識と生活習慣の改善

目標項目		策定時 (令和元年度)	めざそう値 (令和7年度)	調査結果 (令和7年度)	判定
8020 運動の言葉と意味がわかる人の割合の増加	20歳以上	43.8%	50%以上	39.2%	悪化
間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ人の割合の減少	1歳6か月児	9.9%	5%以下	9.1% ※	改善傾向
昼食後の歯みがき実施生徒の割合の増加	高校1年生	10.6%	20%以上	8.2%	悪化
デンタルフロスや歯間ブラシを使用する人の割合の増加	20歳以上	67.3%	70%以上	59.5% ※	悪化
毎日保護者が仕上げみがきをする習慣のある人の割合の増加	1歳6か月児	90.3%	93%以上	92.9% ※	改善傾向

「※」がある項目は令和7年12月時点の数値となり確定値ではありません。

#### 2. 歯科疾患の予防

目標項目		策定時 (令和元年度)	めざそう値 (令和7年度)	調査結果 (令和7年度)	判定
むし歯のない人の割合の増加	3歳児	84.2%	90%以上	91.9% ※	達成
むし歯の本数の減少	12歳児	0.8本	0.7本以下	0.8本	変わらない
60歳で未処置歯を有する人の割合の減少	60歳	29.4%	25%以下	39.1% ※	悪化
中学1年生で歯肉に炎症所見を有する人の割合の減少	中学1年生	19.7%	19%以下	11.6%	達成
40歳で進行した歯周炎を有する人の割合の減少	40歳	7.7%	7%以下	9.1% ※	悪化

「※」がある項目は令和7年12月時点の数値となり確定値ではありません。

### 3. 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持獲得

目標項目		策定時 (令和元年度)	めざそう値 (令和7年度)	調査結果 (令和7年度)	判定
3歳児でよく噛んで食べていると思う保護者の割合の増加	3歳児	87.9%	93%以上	89.3% ※	改善傾向
よく噛んで食べていると思う生徒の割合の増加	中学1年生	53.9%	60%以上	67.5%	達成
	高校1年生	48.6%	60%以上	63.1%	達成
硬い食べ物でも普通に噛んで食べることができる人の割合の増加	20歳以上	62.4%	65%以上	59.4%	悪化

「※」がある項目は令和7年12月時点の数値となり確定値ではありません。

### 4. 定期的に歯科健診または歯科医療を受けることが困難な人に対する歯科口腔保健

目標項目		策定時 (令和元年度)	めざそう値 (令和7年度)	調査結果 (令和7年度)	判定
市内で在宅歯科サービスを提供する施設数の増加		14施設	16施設以上	11施設 ※	悪化

「※」がある項目は令和7年12月時点の数値となり確定値ではありません。

### 5. 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備

目標項目		策定時 (令和元年度)	めざそう値 (令和7年度)	調査結果 (令和7年度)	判定
過去1年間に歯科健診を受診した人の割合の増加【再掲】	20歳以上	57.7%	60%以上	63.7%	達成
かかりつけ歯科医がある人の割合の増加	20歳以上	68.5%	70%以上	76.7%	達成

## 別冊 自殺対策計画

自殺対策計画では、5つの施策の方向性に10の具体的な取り組み、合計12のめざそう値を設定し、計画を推進してきました。

めざそう値12項目中、「達成」は5項目、「改善傾向」は5項目、「変わらない」は1項目、「悪化」は1項目でした。

策定時よりも現状値が悪化した項目は、自殺やうつ病に関連する講演会や講習会に参加したことがある人の割合でした。

### 1. 地域におけるネットワークの強化

目標項目	策定時	めざそう値	調査結果 (令和7年度)	判定
自殺対策ネットワーク会議の設置	未設置	設置	設置	達成

### 2. 自殺対策を支える人材の育成

目標項目	策定時	めざそう値	調査結果 (令和7年度)	判定
ゲートキーパー(命の門番)の養成 (各小学校区 累計10人以上)	取り組み 開始	9 小学校区 (R3)	6 小学校区	改善傾向
養成講座などを実施する指導員や講師の 育成	未実施	10 人 (R2)	7 人 ※ (R6)	改善傾向

「※」がある項目は令和6年度の数値となり確定値ではありません。

### 3. 市民への啓発と周知

目標項目	策定時	めざそう値	調査結果 (令和7年度)	判定	
相談窓口カード、自殺予防週間などの啓発 リーフレットの配布	未実施	全戸配布 (R2)	実施	達成	
自殺対策強化月間におけるイベントの開催	未実施	年1回実施 (R2)	実施 ※ (R6)	達成	
自殺予防週間、自殺対策強化 月間を聞いたことがある人の 割合	20歳以上	58.5%	66%以上	63.4%	改善傾向
自殺やうつ病に関連する講演 会や講習会に参加したことが ある人の割合	20歳以上	4.6%	8%以上	4.4%	悪化
ゲートキーパー(命の門番) の言葉と意味を知っている人 の割合【再掲】	20歳以上	9.5%	33%以上	10.5%	変わらない

「※」がある項目は令和6年度の実績となり確定値ではありません。

#### 4. 生きることの促進要因への支援

目標項目		策定時	めざそう値	調査結果 (令和7年度)	判定
家族以外に、自分の健康に関する悩みや不安を相談できる人がいる割合の増加【再掲】	20歳以上	65.3%	70%以上	66.7%	改善傾向
遺族に対する支援情報の提供 (窓口でのリーフレット配布)		未実施	実施 (R2)	実施	達成

#### 5. 児童生徒のSOSの出し方に関する教育

目標項目		策定時	めざそう値	調査結果 (令和7年度)	判定
児童・生徒のSOSの出し方に関する教育の実施		取り組み開始	実施 (全小・中学校)	実施 (全小・中学校)	達成
SNS相談を行う団体があることについての普及啓発	高校1年生	29.4%	66%以上	61.8%	改善傾向